

早急に安全 安定輸送の確保を！

新 A T C 故障で業務委員会開催

4 月 1 3 日、申 2 2 号（新 A T C 故障に関する申し入れに）基づく業務委員会を開催しました。3 月 1 8 日ダイヤ改正以降 A T C 故障（異常信号現示）が多発しています。A T C は新幹線の心臓部といわれる装置であり、一歩間違えれば重大事故につながる恐れがあります。本部は A T C に異常信号が現示されることは安全上問題があると強く主張しました。

会社は、「車上 A T C 装置のプログラムに起因するもので異常現示がでた」「プログラムの改修を進める」「停止または減速表示をするので安全上問題はない」という回答でした。

主な議論経過は以下の通りです。

《申 2 2 号会社回答》

1. 3 月 1 8 日以降の新 A T C 故障をすべて明らかにすること。

【回答】3 月 1 8 日新 A T C 運用開始で本線や車両所構内で通常ではでない停止信号などを現示する事象が 2 2 件発生している。

2. それぞれの故障の原因と対策を明らかにすること。

【回答】2 2 件のうち滑走などを除く 1 9 件は車上 A T C 装置のプログラムに起因するものであるが、いずれも車上 A T C 装置が停止または減速させる下位信号を現示したもので安全上問題はない。

プログラムに起因することとは、自列車に対する情報や先行列車に対する情報などが次々と入り処理できなくなるようなことが発生したことである。こういう状況の時、下位信号をだし、安全上問題がないプログラムになっている。

3. 現場の社員、特に乗務員に対して故障の詳細を明らかにすること。

【回答】事象の原因と対策が究明できた時点で、必要な情報については掲示、訓練等において周知を行っている。

万全なチェック体制をせよ！

組合：新 A T C に移行するときプログラムのチェック体制はどうだったのか。いろいろな条件を想定して移行したのではないのか。

会社：今回の事象は想定外のことだ。
組合：プログラムの試験は行ったのか。
会社：試験は行ったが、想定外のことだ。
組合：J R 西日本の列車に多いように思うが、関連はあるのか。
会社：関連はない。J R 西日本の列車とか、特定の場所、特定の編成で事象が起きているということでない。
組合：あくまでプログラムに起因することか。
会社：そうだ。
組合：A T Cは新幹線の重要な装置だ。チェックをしっかりとすべきだ。

早急に改修を進めろ!

組合：プログラムは情報が処理できなくなったとき下位信号をだすといっているが、上位信号をだすことはないのか。安全は確保されているのか。
会社：下位信号か停止信号を現示させるシステムになっている。
組合：改修の状況はどうなっているのか。
会社：現在進めていて5月末までに終了する予定だ。
組合：改修とは運転制御部のソフトの改修か。
会社：そうだ。
組合：改修が終了していない列車は信号の異常現示が発生する可能性があるということになるのか。
会社：可能性がないとはいえない。
組合：5月末といわず早急に改修作業を進めるべきだ。
会社：運用の問合いなどをみて実施していくことになるので5月末くらいになる。
組合：改修が終了していない列車ではいつ異常現示が表示されるか、わからない状況ということになる。安全・安定輸送の観点から早急な改修が必要だ。

現場乗務員にはっきりした情報開示をせよ!

組合：A T Cの異常現示がでた時、1系、2系のN F B「切」「入」でリセットできるのか。
会社：リセットできる。
組合：運転士同士の話としては聞いているが、掲示などで伝えるべきだ。
会社：原因がわかったので掲示、訓練で周知させている。
組合：掲示は最近である。本線において異常信号が現示された場合対応するのは運転士である。現象、処置方など掲示で徹底すべきである。

以上

本部は、新A T Cの故障に関して本部は早急に改修を進めることと、現場社員にはっきりした情報開示を求めました。安全に妥協は許されません。意見などありましたら本部までお願いします。